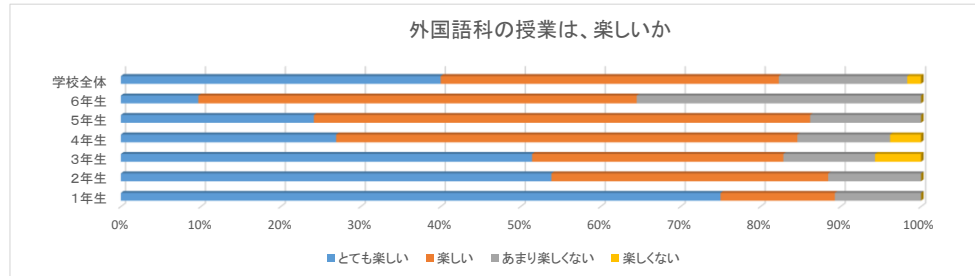


外国語科に関する調査結果(令和4年度)

天草市立 有明小学校

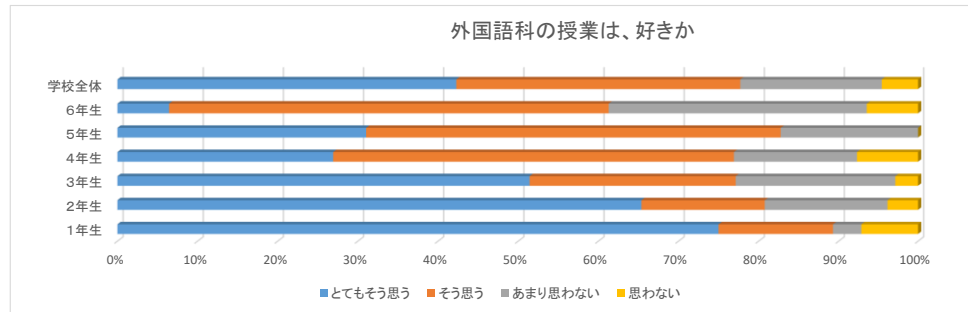
【児童へのアンケートの結果より】(令和4年11月実施)

① 外国語科の授業は、楽しいか



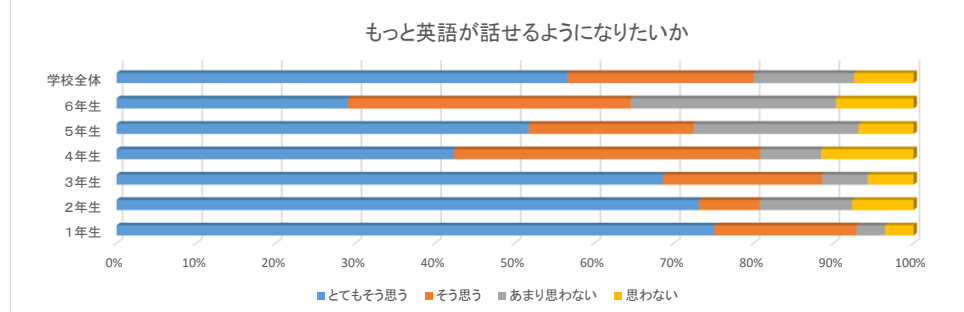
学校全体でみると、約80%の児童が外国語科の授業は「とても楽しい」、「楽しい」と答えている。ほとんどの学年で80%以上の児童が「楽しい」と答える中、6年生は約65%と昨年と比較し、減っていることがわかる。内容が難しくなり、できないという固定概念がそのように思わせている原因の一つと考える。「あまり楽しくない」、「楽しくない」と回答する児童を減らすために、授業の中で対話的な活動を増やし、英語の楽しさやよさを実感できるようにしていきたい。

② 外国語科の授業は、好きか



学校全体でみると、約75%の児童が外国語科の授業が「好きである」と答えている。一方で、25%程度の児童が「好きではない」、「あまり好きではない」と答えている。どの学年においても、授業を楽しんでいる児童が多ければ、「好き」と感じる児童も多いことがわかる。それぞれの学年の発達段階に応じたコミュニケーション活動等を取り入れながらねらい達成に向けて授業を展開して行くことで、外国語の授業を好きになる児童が増えると考えられる。

③ もっと英語が話せるようになりたいか



「もっと英語が話せるようになりたい」と答えた児童は学校全体で昨を下回り78%であった。低学年や中学年は80%を超える児童が「話せるようになりたい」と回答していた。しかし、学年によって、「英語を話したい」という意欲に差がある。授業の中でたくさん話す機会を設け、話せたことに対する周囲の評価、自身の達成感を味合わせることでできる取り組みを行っていく必要がある。また、日常生活の中でも英語の楽しさを味わいながら、英語を話す体験をさせたい。

【学校関係者・保護者からの意見】

- ・授業の中でコミュニケーション活動を継続的に行ったことで単語や英文の習熟が図られた。
- ・リズムに合わせて練習することで、楽しみながら英語の発音に慣れ親しむことができた。
- ・小学校1年生から楽しみながら専科の先生やALTの先生と一緒に学ぶことができ、興味関心をもつことができています。
- ・外国語科を学ぶことで、言語だけでなく、外国の文化等についても学ぶことができ、グローバル化につながっていると思う。